

市政の窓



No.59

秋はイベント目白押し

先月、関東・東北地方を襲った記録的豪雨で河川が氾濫し、茨城県常総市などが甚大な被害を受けました。また、千葉市では竜巻とみられる突風が発生した他、都内では東京湾を震源とする地震により震度5弱を観測、さらには、阿蘇山の噴火や南米チリ沖地震による津波到達への警戒など、このころ日本列島各地で災害が頻発しています。亡くなられた方々、被災された方々には衷心より、お悔やみとお見舞いを申し上げます。市では防災対策に万全を期しています

が、同時に市民の皆さんの防災意識と日頃の備えが大切です。毎年市が実施している総合防災訓練の実践として、御家族で緊急時の連絡方法や避難先の確認、防災グッズの点検などをお願ひします。

10月を迎え、芸術やスポーツ、読書、旅行など、爽やかなこの季節はさまざまに楽しみ方があります。ぜひ皆さんならではの秋を満喫していただきたいと思っています。

市では、市制施行10周年記念事業として、今日15日から100日間にわたり、市ホームページなどで、市制施行日までの日数を市民の皆さんから寄せられた写真により、日替わりでお知らせするカウントダウン事業がスタートします。この他、今日25日のNHKラジオ番組「民謡をたずねて」の公開録音をはじめ、飯高檀林コンサート、よかっぺ祭りなどのイベントが、匠瑳市誕生の節目を記念して開催されます。多くの皆さんにご参加いただき、一緒に盛り上げてくださるようお願いいたします。

また、難読地名同士の御縁で交流が深まる兵庫県六粟市でも、25日に市制10周年記念式典が挙行されます。匠瑳市民を代表して六粟市の皆様に心からの祝意をお伝えし、両市の更なる発展に向けて、私もまちづくりにまい進してまいります。

匠瑳市長 太田安規

図書館だより



休館日…1日(木)・13日(火)・毎週月曜日

★読書の秋に文学賞受賞作品を

第153回芥川賞は又吉直樹さんの『火花』、羽田圭介さんの『スクラップ・アンド・ビルド』、直木賞は東山彰良さんの『流』が受賞作に決まりました。

芥川賞、直木賞は年に2回発表。その他にも、本屋大賞や『このミステリーがすごい!』大賞など、さまざまな賞があります。これら全ての受賞作品を自宅にそろえるのは大変です。図書館を活用し、秋の夜長に読書を楽しみましょう。

今月のイベント

会場は、どちらも八日市場図書館です。

★赤ちゃんと楽しむわらべうたの会

童歌を楽しみながら赤ちゃんと絆を深めましょう。

日時…10月20日(火) 10時～11時

対象…6か月～2歳未満児とその保護者

定員…15組(申し込み順) 申し込み…八日市場図書館

★おはなし会

日時…毎週土曜日 14時～約30分間

場八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

寄付 (2万円以上)

●社会福祉協議会へ

龍蔵院様より

…31,786円

文芸コーナー

短歌

小泉 泰清 推薦

竜神に背むけられし吾が畑かひび割しるく雷雲を見ず

亀崎 青木 秀子

夜深けて鈴虫の音の聞こえ来る猛暑堪えし身体和らぐ

西小笹 伊藤 英子

夏休み孫の宿題指紋採集我的手足が教材なるや

八日市場木 鈴木 和子

「今いくよ」笑いふりまく任終えて一人旅立つ黄泉の国へと

堀川 山本 伸子

梅雨寒の八月の終り季を違え梔子の白花咲きて清しも

高野 鈴木 知子

縁ありて笠森の地に住みし我子そびえ建つ観音堂に幸を祈らん

春海 大木まさ子

駅前平和の像に千羽鶴平和を祈る楨といっしょに

八日市場木 小川 一夫

山あひのこの田の米は旨かろと稲穂垂るるを見つつ通りぬ

川口 城司 推薦

まだ早しと思ひしゴーヤ熟れ過ぎて今朝は真赤な種こぼしをり

栢田 渡辺 重雄

終戦後母の袴をスカートに直し通学せしこと思ふ

野手 石田 秀子

ひまわりの畑の迷路ただひとりゆけどもゆけどもひまわりばかり

今泉 小川みさ子

一枚の刈田すんとあらはるる

堀川 石井 みい

俳句

八木 佐久司 推薦

一枚の刈田すんとあらはるる 八日市場八 大川 宣子

徳本念仏塔

平木を歩く

路傍や墓地などにある石仏や石塔に刻まれた文字からいろいろ知ることが出来ます。

現在、平木・山里コミュニティセンターの建つ場所は、かつて円蔵寺(廃寺)がありました。そこに隣接する路傍の

石塔の中に、自然石に「南無阿弥陀仏 徳本」と刻まれたものがあり、徳本念仏塔、徳本名号塔、徳本供養塔などと呼ばれています。

徳本については『浄土宗大辞典』などによると、1758年に現在の和歌山県で生まれ、浄土宗の僧侶として近畿・北陸・信州・関東などで

広く布教活動を行ったとされています。活動した村々には、念仏講中により特徴ある独特の書体の「南無阿弥陀仏」(六字名号)が刻まれた石塔が残されています。

旧八日市場市域では、4基の徳本念仏塔が見つかっています。調査当時、徳本の行動や石塔の造立経緯について分かりませんでした。平成14

年刊行の『千葉県の歴史 別巻 民俗2(各論)』に銚子での活動が詳しく紹介されています。

1814年徳本は江戸に出て、小石川伝通院に在住していた1816年に小見川(香取市)の寺の招きで下総

国を訪れました。この時、求めに応じて13の寺や信者に名号を与えた中に「吉崎村」も含まれていました。

その後銚子にも招かれ千人塚で念

仏回向を行いました。同年4月21日に銚子をたち飯岡村、網戸村(ともに旭市)、東小笹村、吉崎村(ともに共興地区)を通り、野手・龍蔵院(野田地区)で休んだ後、その日のうちに木戸・光泉寺(横芝光町)に着きました。同寺での活動には上総国、安房国などからも信者が集まったとされます。木戸から鐺木・光明寺(旭市)に向かう途中、八日市場・西光庵(中央地区)下出羽区(会所)に立ち寄り、ここにも多くが詰めかけたといえます。

徳本は下総巡歴を終え江戸に戻って程なくして、1818年10月6日に61歳で亡くなりました。

市域に残る4基の念仏塔のうち「春海村元組講中」の塔は同年3月、東谷・安養寺境内の塔は命日の、吉崎の塔は翌年3月の年号が刻まれています。

平木・山里集落路傍の塔は、やや遅れて1822年11月の造立で、市域での徳本の足跡を伝えています。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

のしかかる空の重たし油照
手花火を親子三代囲みをり
一瞬の沈黙のあり虫時雨
草の蔓よるべをさがす残暑かな
ふり返る今日より八十路白芙蓉
蜩の空のひと隅まだ昏れず
里山の残照集め散る公孫樹

若潮町 光瀬甲江子
八日市場口 高安せい子
長谷 宇野とし子
登戸 伊藤 さく
横須賀 岩井 やす
上谷中 大田三樹夫
春海 八角 宗林

川口 城司 推薦

帰る子に完熟南瓜は半分こ
夏の夜すっぴんのまま人と会う
秋思満つ介護病棟午後三時

栢田 伊藤 定子
今泉 野仲 妙子
栢田 櫻井富美雄

川柳 鈴木十世志 推薦

貸す方も取れずに困るサラ金苦
早口のカタカナ語には音を上げる
倒伏の稲は困って鎌で刈り
スパーに行くたび上がる物価高
成り行きの安請け合いて困り果て
奏てるは歯と歯を通る隙間風
愛犬の遊び相手のバツタ逝く
噴火する山へ大雨土砂崩れ

八日市場ホ 菱木 静枝
飯塚 鈴木ツネ子
木積 佐久間美智子
八日市場ホ 大木波津恵
飯高 林 サダ子
飯高 松野 敏昭
春海 八角 宗林
東小笹 江波戸京子

川口 城司 推薦

栢田 石田 津

力作 募集中

あて先：匠瑳市秘書課広報広聴班
〒228912198
匠瑳市八日市場八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114